

特集 「幕別生まれの作曲家・万城目正の生涯と作品(上)」より

からす組 細谷 十太夫



幕別に住んだ最初の和人といわれている細谷十太夫。

細谷は天保11年(1840年)生まれの仙台藩士であり、元来仙台藩の隠密であり表に出てくることはなかった。

だが、戊辰戦争の際、官軍の横暴や奥羽越列藩の弱腰などから命知らずの博徒を集めて「衝撃隊」を結成。結成時の人数は57人。

制服が黒で統一されていたこと、細谷の上着に三本脚のカラスの図柄があったこと、夜襲を得意としていたことなどから、官軍側からは「からす組」と恐れられた。

30数回を超える夜襲攻撃は全て勝利した。

衝撃隊の活躍は子母沢寛と早乙女貢が「からす組」の題名で小説にしている。

